

目 次

1. 研究の目的と経過	新納 泉 (1)
2. 造山古墳外周部の発掘調査	新納 泉 (6)
3. 造山古墳と周辺古墳群の円筒埴輪にみられる畿内との関係	野崎貴博 (27)
4. 造山古墳前方部所在石棺の三次元計測	新納 泉 (33)
5. 造山古墳前方部所在石棺研究の現状と課題	光本 順 (38)
6. 造山古墳陪塚の墳丘デジタル測量	寺村裕史 (46)
7. 千足古墳石室の三次元計測	新納 泉 (61)
8. 作山古墳墳丘のレーザー計測	新納 泉 (67)
9. 作山古墳の三次元測量データから樹木形状を除去する方法について	庄 政典 (72)
10. 「吉備」に関する基礎的考察	今津勝紀 (80)

例 言

1. 本書は、2008～2011年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究(A)「造山古墳群を例とするデジタルアーカイブの構築と時空間研究の刷新」(代表・新納泉)の研究成果報告書である。
2. 上記研究課題は、新納泉を研究代表とし、研究分担者として今津勝紀、野崎貴博、松木武彦、光本順、連携研究者として岸本直文、澤田秀実、寺村裕史に参画をお願いした。